

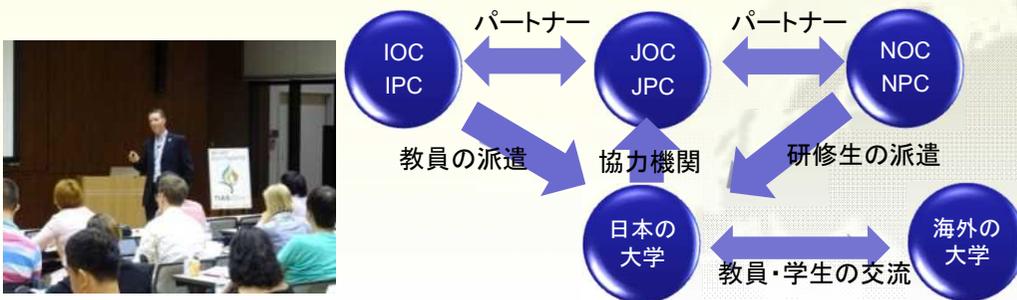
# スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログラム

(前年度予算額：1,171,370千円)  
30年度概算要求額：1,235,951千円

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催国として、世界の国々との交流・協力関係を築きながら、スポーツの価値をさらに高めようとする国際的な取組に貢献するため、スポーツを通じた国際協力及び交流、国際スポーツ人材育成拠点の構築、国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援を柱とする「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムに取り組むとともに、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを日本全国へ波及させるための取り組みを実施する。

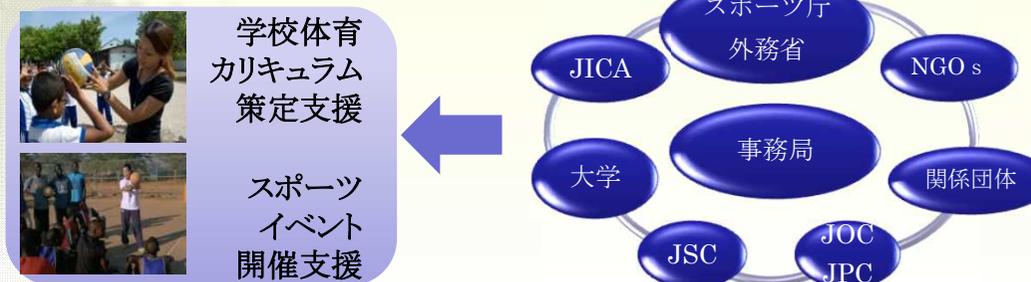
## ①スポーツ・アカデミー形成支援事業

オリンピック・パラリンピック・ムーブメントとスポーツ医科学研究の推進を図るため、国際的なスポーツ関係者の招聘、各国の中核的なスポーツ指導者の受け入れ・養成を進めるための国際的な中核拠点を、我が国の体育・スポーツ系大学群と各国の体育・スポーツ系大学間でのネットワークにより構築する。



## ②戦略的・二国間スポーツ国際貢献事業

官民連携協力によるスポーツの国際協力コンソーシアムを運営し、学校体育カリキュラムの策定支援などの各国の協力要請に迅速かつ的確に対応することで、途上国のスポーツ環境の整備に協力する。また、パラリンピック未参加国の選手の発掘・育成及び各国パラリンピック委員会に対する運営支援を行う。



## ③国際アンチ・ドーピング強化支援事業

- ・アンチ・ドーピング活動が遅れている国へのドーピング防止教育・研修パッケージの導入・普及、人材育成支援、それらを支える研究開発、国際会議・シンポジウムの開催等を通じて、世界のスポーツにおけるドーピングの撲滅に貢献する。
- ・アジアのドーピング防止活動の発展を促進するため、「アジア・ドーピング防止基金」に対し資金を拠出する。



## ④オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを全国に波及させ、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に資するため、オリンピック・パラリンピック教育を全国へ展開する。また、事業実施に当たっては、先行して取組を行っている東京都や、東京2020大会組織委員会が行う教育プログラム(よいい、ドン!)との連携を密に行う。

- ・全国的なコンソーシアムの形成、オリンピック・パラリンピアンへの派遣調整、オリパラ教育全国セミナーの開催等を行う「オリパラ教育全国中核拠点」を設置する。
- ・道府県等教育委員会に委託を行い「オリパラ教育地域拠点」を設置し、各地域拠点で特色あるオリパラ教育を実施する。



## ⑤スポーツ・デジタルアーカイブ・ネットワーク構想事業

平成29年度の調査研究をもとに、オリンピック・パラリンピックをはじめとする国際競技大会等に係る資料のアーカイブ化・ネットワーク化に向けた構想案を作成するとともに、その後の自律的な運営・利活用を促進するための関係者会議を開催する。



# スポーツ・フォー・トゥモローにおける地方自治体へのお願い

スポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）とは・・・

- ・2013年9月、ブエノスアイレスで開催された IOC総会において、安倍総理が招致プレゼンテーションを実施。
- ・2014年から**2020年までの7年間**で開発途上国をはじめとする**100カ国以上・1000万人以上**を対象として、我が国が、世界のよりよい未来をめざし、スポーツの価値を伝え、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントをあらゆる世代の人に広げていくことを約束。現在、この取組を官民連携のオールジャパン体制で推進している。

## ◆ホストタウン事業との連携について

- ・ホストタウンに既に登録されている団体については、特例としてSFTの入会審査なく、事業申請のみ提出いただければ、SFT事業で対外的に発信している数にカウントさせて頂くこととしました。
- ・申請頂いた事業に関しては、SFTのホームページやフェイスブックにおいて、広報発信をさせていただきますので、ホストタウン登録自治体の皆様におかれましては、積極的な事業申請をお願いいたします。

## ◆SFTに入会頂くメリット

- ・SFT入会のメリットとして、スポーツを通じた貢献事業や交流事業の実施をお考えの自治体に対し、SFT会員（民間企業、国内競技連盟、NGO団体、大学など）とのマッチングを支援が可能です。

**これを機にスポーツ・フォー・トゥモローへの入会申請を宜しくお願い致します。**

# スポーツ・フットゥモローの主な取り組み



スポーツ関連施設の整備



スポーツイベントの開催支援



ボランティアの派遣



学校体育カリキュラム策定支援

# SFTコンソーシアム会員

■ 2017年9月12日現在で、計**341団体**が加盟

会員団体数のカテゴリ別推移(運営委員会団体(12団体)除く)

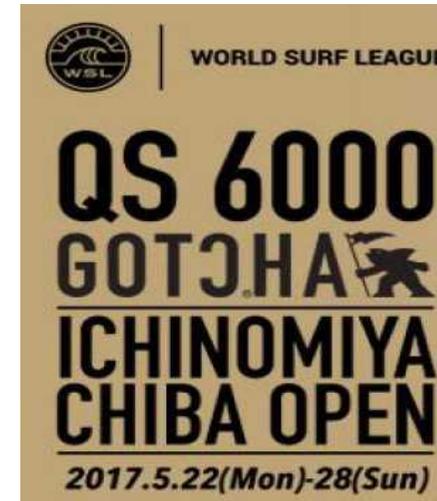
	設立時 (2014年9月)	現在 (2017年1月)
国内スポーツ関連団体	21団体	96団体
NGO / NPO	6団体	77団体
民間企業	0団体	83団体
大学	1団体	20団体
<b>地方自治体・関連団体</b>	<b>1団体</b>	<b>37団体</b>
その他	0団体	16団体
合計	29団体	341団体

## アジア太平洋子ども会議・イン福岡 スポーツ交流事業



- スポーツ・フォー・トゥモロー初の地方公共団体実施による認定事業。
- 福岡県が今回27回目を迎える招聘事業で、「運動会」と「プロサッカー選手によるサッカー教室」というスポーツ国際交流プログラムを実施。
- アジア太平洋33カ国から集まった210名の「子ども大使」が言葉や文化を超えてスポーツでの交流を行った。

## 千葉県一宮町から南アフリカへのサーフボード寄贈事業



- 千葉県一宮町が東京2020大会の新種目であるサーフィンの競技会場に正式決定したことを受け、「一宮町から世界へ何かできることはないか？」という思いからスポーツ庁に相談あり
- **SFTコンソーシアム内でのマッチングにより**、ストリートチルドレンにサーフィンを教えている南アフリカのNGO団体「Surfer's not street children」が、寄贈先として浮上。南アフリカへの海上輸送は**SFT会員の民間企業にて無償提供の目途が立つ**。
- 5月末に同町で開催される国際サーフィン大会に合わせ、中古サーフボードの収集を行い、約100本のサーフボードを寄贈の予定。